

「オリンピック・パラリンピック(仮称)実行プログラム素案」に対する
区民会議参加者からの意見と区の考え方

意見番号	意見内容	区の考え方
1	1/9の1 予算の許す範囲で取り組むことは、良いと思います。何度か訪れる京都では、以前は観光マップの日本語表記の下に小さい字で英語表記がありました。3年前頃から、英語表記が大きな字で、その下に小さな字で日本語表記に変わっていました。日本人観光客には非常に見にくくなったのですが、外国人には良くなったと思います。	過度な財政負担が生じない様、プログラム期間中の予算編成の中で留意するとともに、標識類の多言語化にあたっては、日本人・外国人ともに分かりやすい表記となるよう配慮しつつ、取組みを推進していきます。
2	2/9の13 運動能力の向上の為に、とても大切なことだと思います。	オリンピック開催を契機として、児童・生徒の運動能力向上に向けた取組みが定着するよう推進していきます。
3	3/9の16～20 ぜひ、力を尽して欲しいです。	千代田を訪れる観光客の増加に備え、公衆衛生の観点から安全・安心なまちづくりを進めます。
4	5/9の29 観光の要の皇居のお濠の水を浄化することは、オリンピックある・無しにかかわらず、大切です。	区では直接お濠の浄化に取り組むことはできませんが、水質調査等を定期的に行い、関係機関に情報提供するなど水質向上に向けて連携した取組みを進めていきます。
5	5/9の33 音もなく、スピードで近づく自転車は脅威です。	歩行者の安全を確保するため、取組みを推進していきます。
6	5/9の34 高齢者にとって、地下鉄の階段はつらいし、転倒の恐怖があります。	地下鉄駅のバリアフリー化が図られるよう、鉄道事業者へ働きかけを行っていきます。
7	5/9の35 大賛成です。	歩道橋の撤去に向けて、調整を行っていきます。
8	7/9の51 普段の時、案内所を訪れる国内外の観光客よりは増えるでしょう。	観光案内所を利用する観光客の増加を見据えて、取組みを推進していきます。
9	7/9の53 連結バスは、千代田区に貢献してくれるのでしょうか？	選手村から区内を結ぶ連結バスを運行させることについては、大会開催後は千代田区と臨海部を結ぶ貴重な交通インフラとなることが期待されます。
10	8/9の54 タブレット端末とボランティアがどう結びつくのか、ちょっと想像できない。	千代田区の基本情報、伝統文化情報、多言語対応の翻訳ソフト、オリンピック種目別会場案内等、ボランティアに活用できる様々な情報が入力されたタブレット端末を、実際のボランティア時に活用できるように学校教育の中でその技能を習得させるものです。
11	オリンピック実行プログラムは、非常にきめ細かく対応されているようですが、1970年のオリンピック後の大不況が来ないように、財政面で慎重にお願いします。	過度な財政負担が生じない様、プログラム期間中の予算編成の中で留意していきます。
12	周辺の区(港区、中央区、文京区、新宿区)などと連携して、コミュニティバスを相互乗り入れさせ、文化施設、商業施設、宿泊施設等にバス停を作り、外国人観光客、地方からの観光客の誘致をすると、お金を使ってもらえるのでは？	千代田区では地域公共交通として地域福祉タクシー「風ぐるま」を運行していますが、区域を超えた交通手段としては既に都営バスがあり、内容が重複します。区としては、項番53「区内への連結バスの運行支援」の取組み等により、観光客の誘致をしていきます。
13	民間のシンクタンクや企業(例えば電通とか)が持っているデータやその分析、ノウハウなども取り入れ、多角的な観点で考えてみるのもいいのでは、と思いました。	実行プログラムの検討過程では、民間のコンサルタントを活用して検討を行いました。プログラム期間中においても、必要に応じて、民間のシンクタンクや企業の協力を仰ぎながら、取組みの検討を行っていきます。